



第29期(2013年12月期) 決算補足説明資料

2014年2月6日

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

略式記号について

1 2 . 3	2012年 3 月期 通期
1 3 . 3	2013年 3 月期 通期
1 3 . 1 2	2013年 12 月期 通期
1 3 . 3 / 3 Q	2013年 3 月期 第3四半期期間
1 3 . 1 2 / 3 Q	2013年 12 月期 第3四半期期間
1 3 . 3 / 3 Q 累計	2013年 3 月期 第3四半期累計期間
1 3 . 1 2 / 3 Q 累計	2013年 12 月期 第3四半期累計期間
1 4 . 1 2 E / 2 Q	2014年 12 月期 第2四半期累計期間予想
1 4 . 1 2 E	2014年 12 月期 通期予想
調整後 1 3 . 3	2013年 3 月期を9ヶ月に調整した期間
調整後 1 3 . 1 2 / 2 Q	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第2四半期累計期間
調整後 1 3 . 1 2	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※「調整後 1 3 . 3」については5ページに注記しております
 「調整後 1 3 . 1 2」については22ページに注記しております

目次

◆ 2013年12月期 決算の概況

[連結]業績の概況	6
[連結]経常利益の増減要因(調整後前期比較)	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前期比較)	11
[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前期比較)	12
[個別]ソリューション別の概況	13
[個別]応用分野別売上高	14
[個別]業種別売上高	15
[個別]ライセンス契約別売上高	16
海外子会社の状況	17

◆ 中期経営戦略及び2014年12月期業績予想

中期経営戦略	19
マルチドメインソリューションとは	20
システムレベル(1D)・シミュレーションとは	21
[連結]14. 12E業績予想	23
[連結]14. 12Eの配当予想	24

◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております

2013年12月期 決算の概況

2013年度より決算期を3月から12月に変更しております

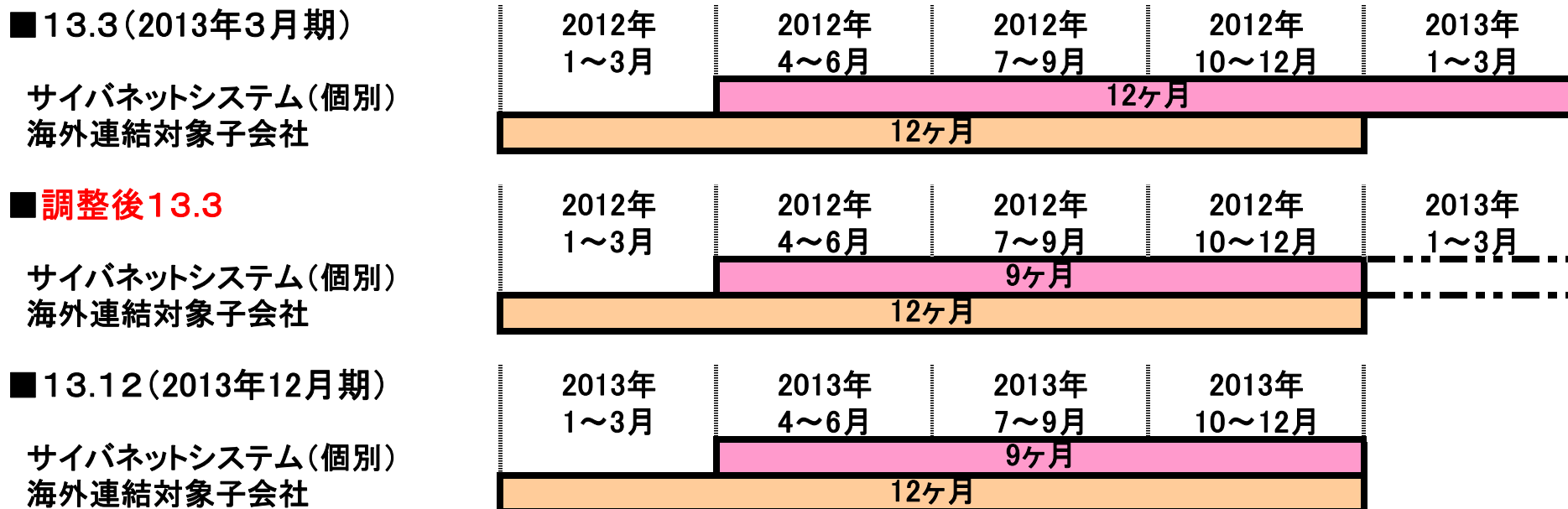
経過期間となる2013年度決算連結対象

- 3月決算のサイバネットシステム(個別) : 2013年4月～12月
- 12月決算の海外子会社 : 2013年1月～12月

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

決算期(事業年度の末日)の変更について

- ◆ 本資料内の**調整後13.3**とは、2013年度通期業績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。



[連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.12 実績	調整後 13.3	前期差	前期比	13.12 計画	計画差	計画比
売上高	11,772	10,530	+1,242	111.8%	11,330	+442	103.9%
売上総利益	5,411	4,464	+946	121.2%	4,887	+523	110.7%
営業利益	494	240	+253	205.8%	447	+47	110.5%
営業利益率	4.2%	2.3%	+1.9P		3.9%	+0.3P	
経常利益	676	352	+323	192.0%	441	+235	153.3%
経常利益率	5.7%	3.3%	+2.4P		3.9%	+1.8P	
当期純利益	335	161	+174	208.6%	236	+99	142.1%
当期純利益率	2.9%	1.5%	+1.3P		2.1%	+0.8P	

※P:ポイント

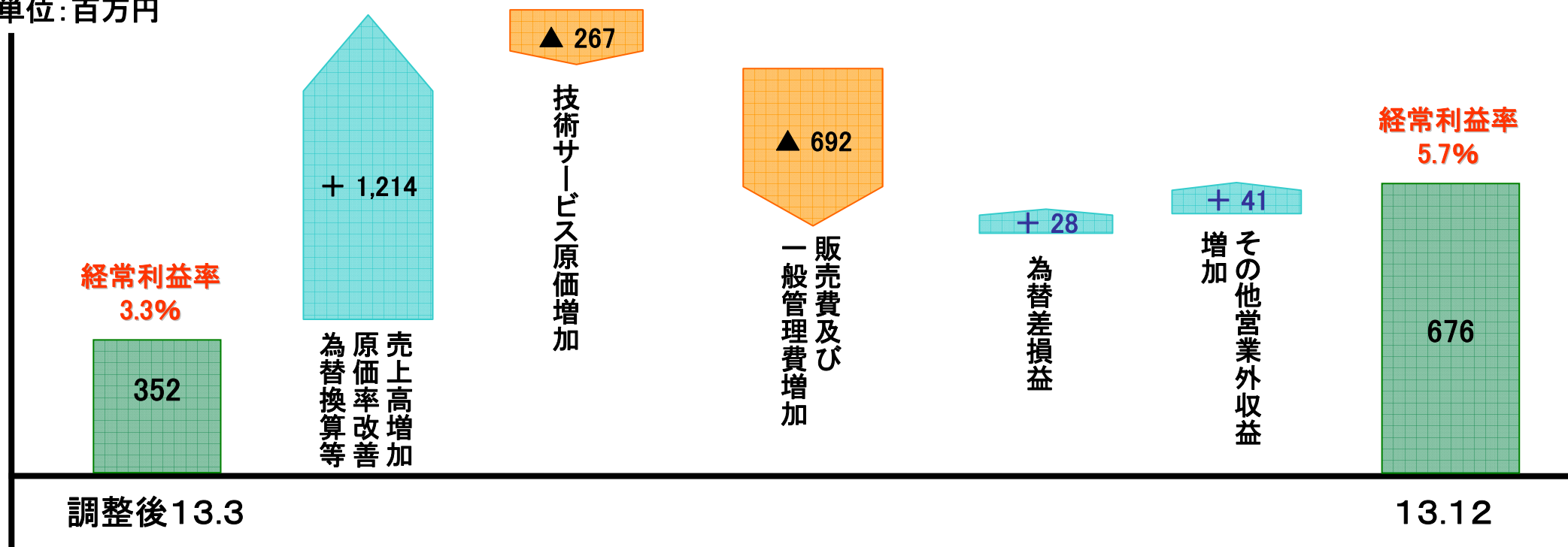
◆ 業績の概況

主力の構造解析系ソフトウェアは、保守契約の更新及び新規ライセンス販売が共に好調に推移いたしました。海外子会社においても北米の開発・販売会社を中心に好調に推移いたしました。その結果、売上高は調整後の前期に比べて111.8%と2桁成長となり、計画比も103.9%と上回っております。

経常利益は、人件費や為替換算に伴う経費の増加がありましたが、為替差益・受取利息・助成金収入などの営業外収益もあり、調整後の前期に比べ192.0%の増益となり、計画比も153.3%と大幅増益となっております。

[連結] 経常利益の増減要因 (調整後前期比較)

単位: 百万円



◆ 経常利益の前期比増減要因

営業利益は、金利低下に伴う割引率の変更による退職給付費用の増加や海外子会社の人件費の増加及び為替換算による経費の増加等がありましたが、売上高の増加及び原価率の改善や為替換算の影響による商品利益の増加により前期差253百万円の増益となっております。

経常利益は、為替差益、受取利息及び海外子会社の助成金収入等の営業外収益が増加したことにより、前期差323百万円の増益となっております。

[連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.3	13.12	前期末差
流動資産	12,758	14,049	1,290
現金及び預金	2,082	4,040	1,957 ①
受取手形及び売掛金	3,346	3,225	▲ 121
有価証券	3,024	2,302	▲ 722 ①
短期貸付金	3,001	3,081	79
その他	1,303	1,400	96
固定資産	4,745	5,007	262
有形固定資産	280	332	52
無形固定資産	3,247	3,617	369 ②
投資その他の資産	1,217	1,057	▲ 160
資産合計	17,504	19,056	1,552
流動負債	3,486	4,397	910
買掛金	1,308	971	▲ 336
未払費用	340	926	585
前受金	1,222	1,891	668 ③
賞与引当金	350	298	▲ 52
その他	264	309	45
固定負債	724	834	109
退職給付引当金	688	802	114
その他	36	31	▲ 4
負債合計	4,211	5,231	1,020
純資産合計	13,292	13,825	532 ④
負債純資産合計	17,504	19,056	1,552

主な増減要因

- ①現金及び預金(前期末差+1,957百万円)
有価証券(前期末差▲722百万円)
有価証券の売却及び償還により有価証券が減少。
一時的に現金及び預金が増加しております。
- ②のれん(前期末差+367百万円)
当期追加+237百万円、償却△316百万円ありましたが、円安による期末為替換算+446百万円により増加しております。
- ③前受金(前期末差+668百万円)
海外子会社において期末に複数年保守契約の受注があったこと等により増加しております。
- ④純資産合計(前期末差+532百万円)
当期純利益+335百万円と剰余金の配当△324百万円がほぼ同額であるため、前期末差異の主な要因は円安による為替換算調整勘定の増加(+529百万円)となります。

[連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.3	13.12
営業活動によるキャッシュ・フロー	401	1,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	985	▲ 80
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 324	▲ 323
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	170
現金及び現金同等物の増減額	1,129	1,234
現金及び現金同等物の期首残高	1,665	2,795
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	12
差引	1,665	2,808
現金及び現金同等物の期末残高	2,795	4,042

◆ 主な増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
売上債権の減少及び前受金の増加並びに法人税等減少等により前期に比べ809百万円と大きく増加しております。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
前期は、貸付金の回収による収入があったため、985百万円のプラスとなっておりますが、当期は、主に資金運用による有価証券の取得・償還のみであり、若干のマイナスとなっております。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
当期及び前期いずれも配当金の支払額のみとなっております。

[連結]四半期売上高の推移

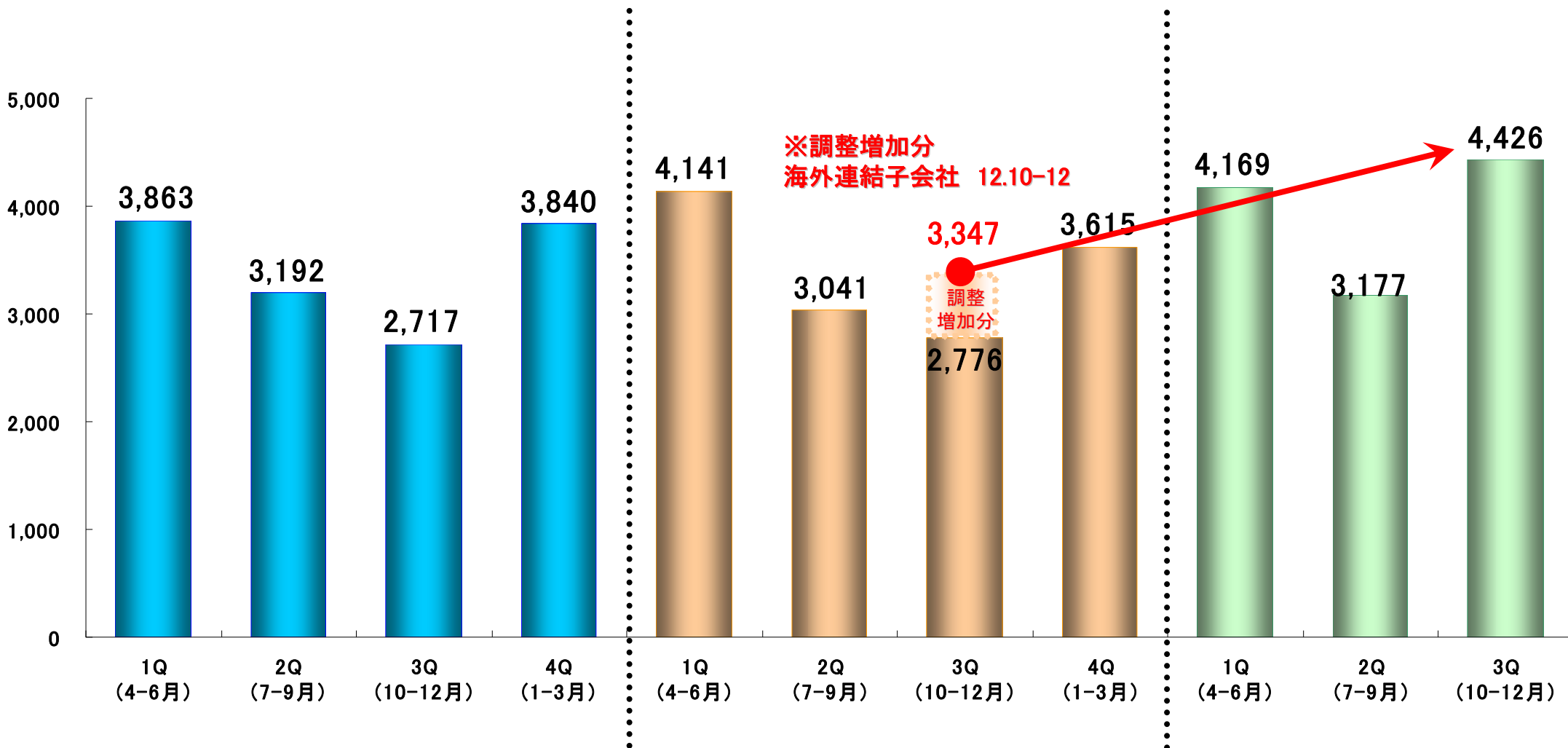
CYBERNET

12.3

13.3

13.12

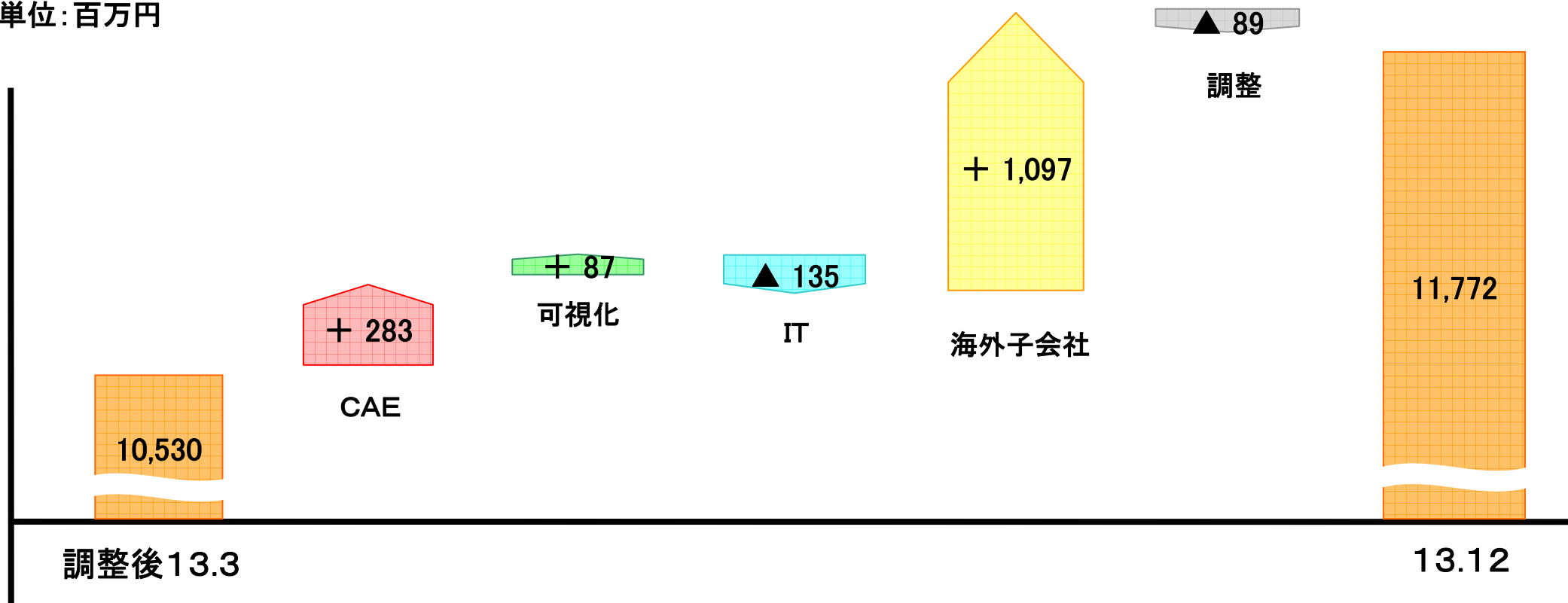
単位:百万円



[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前期比較)

CYBERNET

単位:百万円

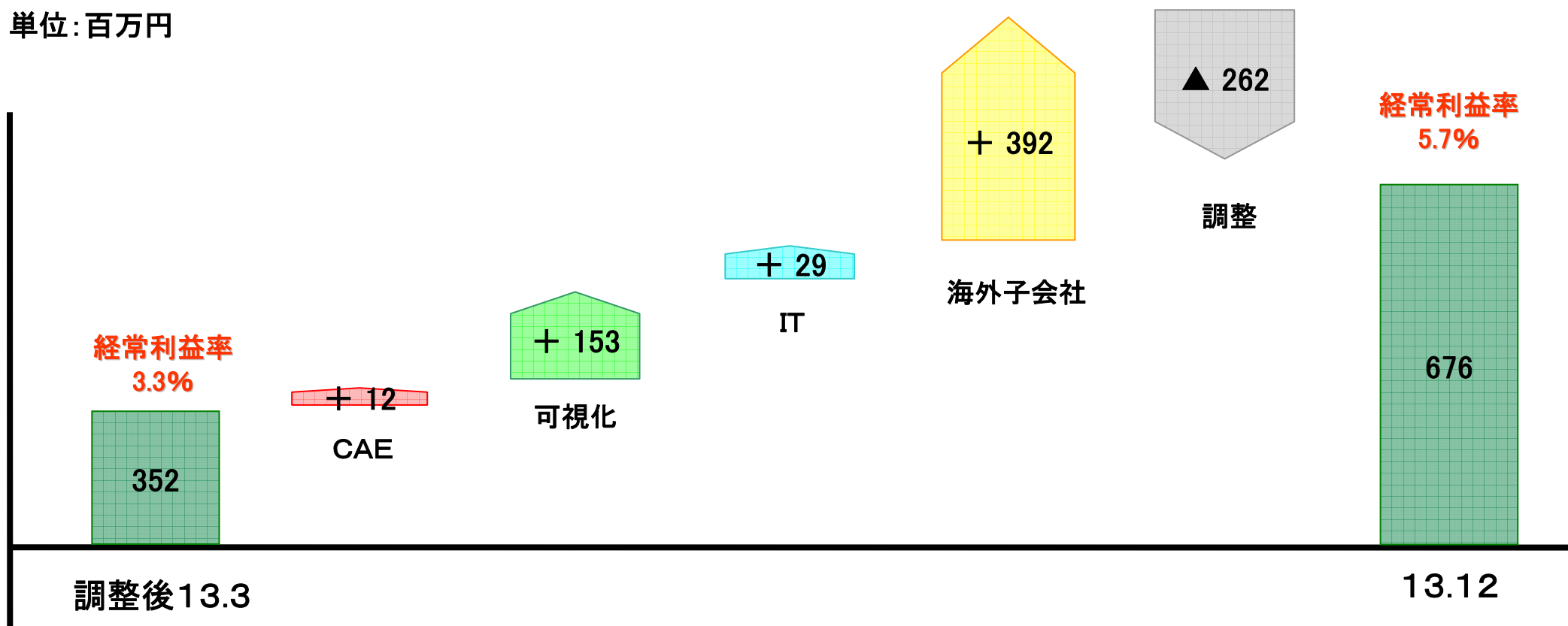


- 注) 上記数値は、調整後の前期売上高に対する事業別の増減額となります。また、各事業の分類は以下となります。
- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(汎用可視化ビジネス除く)
 - ・ 可視化とは、個別における汎用可視化ビジネスとなります。
 - ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
 - ・ 海外子会社とは、連結対象子会社(欧米の開発・販売子会社3社、中国販売子会社1社)の合計数値となります。
 - ・ 調整とは、連結調整となります。

[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前期比較)

CYBERNET

単位:百万円



経常利益率
3.3%

経常利益率
5.7%

注) 上記数値は、調整後の前期経常利益に対する事業別の増減額となります。
各事業の分類は前ページと同様となります。

CAEソリューションサービス	
機 械 系	保守契約の更新が引き続き好調に推移。 主要顧客とのリレーション強化により電機業界の大型案件を獲得するなど、新規ライセンス販売が好調。
光 学 ・ 照 明 系	照明設計解析ソフトウェアと光学設計解析ソフトウェアは、新規ライセンス販売は好調。 フォトリソグラフィデバイスソフトウェアは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新共に好調。
回 路 設 計 系	主力EDAソフトウェアの新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に堅調。 PCB分野のエンジニアリングサービスは、大口案件の受注もあり好調。 システムLSIの上流設計・検証ソフトウェアは、新規ライセンス販売が低調。
数 値 ・ 制 御 系	エンジニアリングサービスは、自動車業界を中心に好調。 複合領域物理モデリング環境は、保守契約の更新は堅調だが、新規ライセンス販売は低調。
新 規 ・ そ の 他	イノベーション支援ソフトウェアは、保守契約の更新は好調だが、新規ライセンス販売が低調。 3次元モデラーは、保守契約の更新が好調。 当社グループ製品は、新規ライセンス販売が好調。
可 視 化 系	汎用可視化処理関連ビジネスにおいては、景気回復基調を背景に保守契約の更新が好調。 医療可視化ビジネスでは、気管支鏡分野のソフトウェアが好調。 AR(拡張現実)ビジネスは、スマートフォンの普及に伴い、引合いが大幅に増加し好調。
ITソリューションサービス	
ディスク暗号化ソフトウェアが、Windows XPのサポート終了に伴う端末の入れ替えなどで好調。 主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、大型案件開拓が遅れ、前年同期を大きく下回る。 サイバネットクラウドサービスの本格開始や特許出願を支援する「R&D Navi」の販売を開始。	

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	13.3/3Q		13.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	921	38.6%	1,022	39.8%	+ 100	110.9%
光学・照明系	404	16.9%	355	13.8%	▲ 48	87.9%
回路設計系	285	12.0%	250	9.7%	▲ 35	87.7%
数値・制御系	103	4.3%	124	4.9%	+ 21	121.0%
新規及びその他のCAE	131	5.5%	157	6.1%	+ 25	119.7%
可視化系	131	5.5%	159	6.2%	+ 27	121.3%
ITソリューション	409	17.2%	501	19.5%	+ 92	122.6%
合計	2,386	100.0%	2,571	100.0%	+ 184	107.7%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	13.3/3Q累計		13.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	3,652	42.0%	3,936	44.0%	+ 284	107.8%
光学・照明系	1,784	20.5%	1,797	20.1%	+ 13	100.7%
回路設計系	875	10.1%	823	9.2%	▲ 52	94.0%
数値・制御系	297	3.4%	259	2.9%	▲ 38	87.2%
新規及びその他のCAE	391	4.5%	484	5.4%	+ 92	123.7%
可視化系	349	4.0%	420	4.7%	+ 71	120.3%
ITソリューション	1,350	15.5%	1,215	13.6%	▲ 135	90.0%
合計	8,702	100.0%	8,937	100.0%	+ 235	102.7%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	13.3/3Q		13.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	750	31.4%	750	29.2%	+ 0	100.1%
機械・精密機器	376	15.8%	445	17.3%	+ 69	118.5%
輸送用機器	321	13.5%	304	11.8%	▲ 17	94.7%
その他製造業	260	10.9%	256	10.0%	▲ 4	98.3%
教育・官公庁	248	10.4%	195	7.6%	▲ 52	78.6%
情報・通信	167	7.0%	275	10.7%	+ 107	164.1%
その他	261	11.0%	343	13.4%	+ 81	131.1%
合計	2,386	100.0%	2,571	100.0%	+ 184	107.7%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	13.3/3Q累計		13.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	3,240	37.2%	3,244	36.3%	+ 4	100.1%
機械・精密機器	1,381	15.9%	1,372	15.4%	▲ 8	99.4%
輸送用機器	967	11.1%	931	10.4%	▲ 36	96.3%
その他製造業	884	10.2%	980	11.0%	+ 95	110.8%
教育・官公庁	863	9.9%	785	8.8%	▲ 78	90.9%
情報・通信	465	5.4%	617	6.9%	+ 152	132.7%
その他	899	10.3%	1,005	11.2%	+ 105	111.8%
合計	8,702	100.0%	8,937	100.0%	+ 235	102.7%

[個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	13.3/3Q		13.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	896	42.5%	1,025	45.4%	+ 129	114.4%
更新契約	1,211	57.5%	1,234	54.6%	+ 22	101.8%
合計	2,108	100.0%	2,259	100.0%	+ 151	107.2%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	13.3/3Q累計		13.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	3,010	37.4%	3,047	37.5%	+ 36	101.2%
更新契約	5,042	62.6%	5,078	62.5%	+ 36	100.7%
合計	8,052	100.0%	8,126	100.0%	+ 73	100.9%

※当期より、ソフトウェアに加え、ハードウェア及びサービスを集計の対象としております。

	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatrrix, L.L.C.	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.
	カナダ	ベルギー	米国	中国
売上前年比 (現地通貨ベース)	146.7%	101.5%	128.5%	82.1%
売上前年比 (円ベース)	173.5%	126.3%	155.5%	102.0%
状況	開発する複合領域モデルシミュレータ及び数式処理ソフトウェアの販売が好調に推移。 欧州地区の拡販を目的として、英国に販売子会社(当社孫会社)を設立。	汎用型最適設計支援ツールの売上が欧州、アジアは堅調に推移するも、米国は振るわず。	3次元公差解析マネジメントツールの販売が好調に推移。 加えて新規製品である幾何公差設計ツールも売上に貢献。	米国製の光学測定器販売ビジネス終了に伴い売上高は減収推移。 当社が開発した光学測定器ビジネスの立上げに注力。

中期経営戦略及び2014年12月期業績予想

(13.3~14.12)

中期経営戦略

CYBERNET

企業ビジョン: First Contact Company ~お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい~

経営戦略

1. 新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
2. システムレベル(1D)・シミュレーション(※1)市場の創造と拡大
3. 顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
4. 当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化

※1 システムレベル(1D)・シミュレーション 21頁参照

重点施策

- ① マルチドメイン(様々な領域にまたがる複合・統合)ソリューション(※2)の推進
- ② MapleSimのグローバル市場への浸透加速化
- ③ 自動車業界への拡販戦略
- ④ 韓国進出、北米・欧州販売網の強化

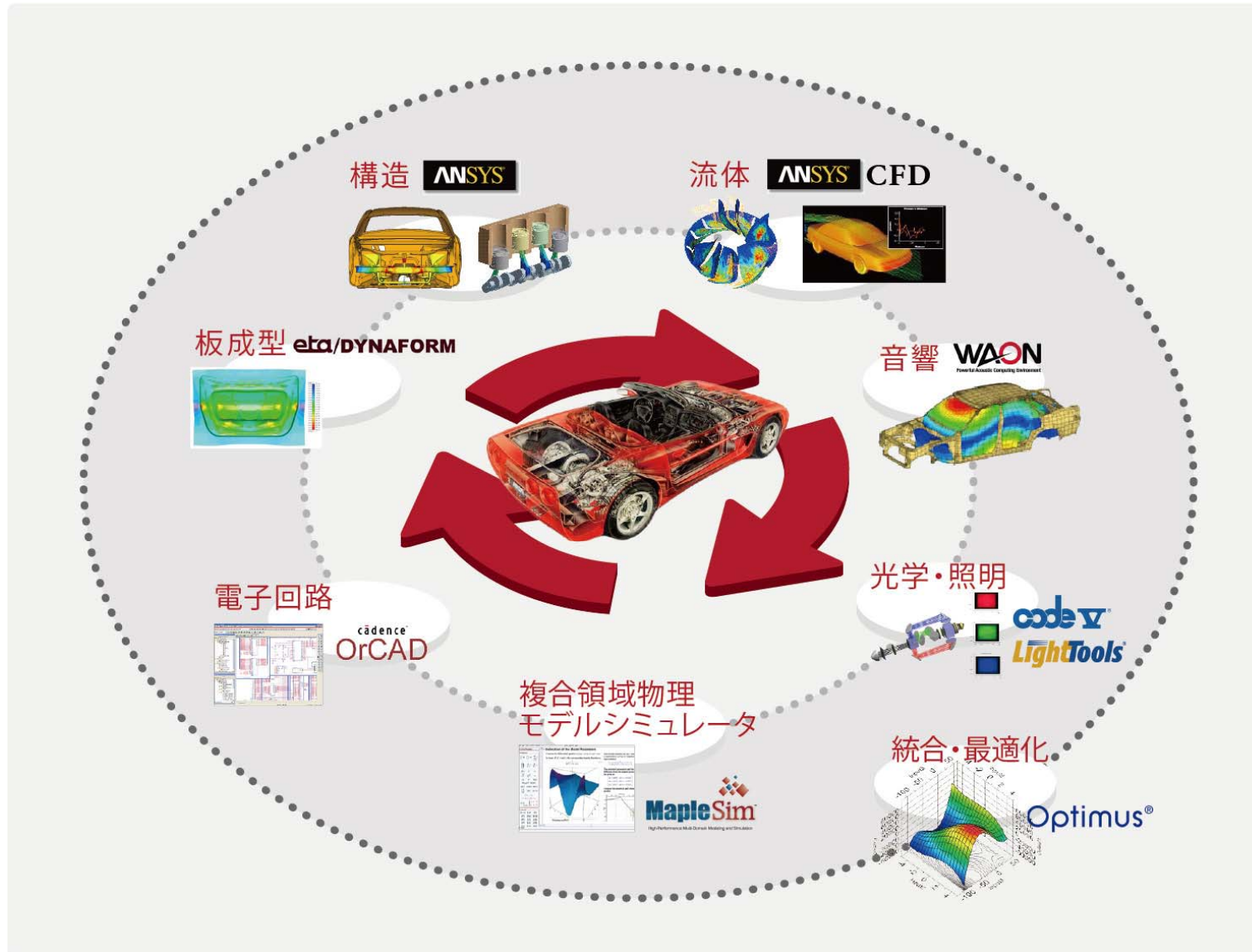
※2 マルチドメインソリューション

20頁参照

マルチドメインソリューションとは

CYBERNET

個別の領域ではなく、複数の領域にまたがる様々な現象を同時、または連続的に解析・シミュレーションすること



新製品開発の上流段階において、新製品に求められる価値や機能といった情報だけで、全体を検証し、新製品の品質向上、開発期間の短縮を図る手法

最上流

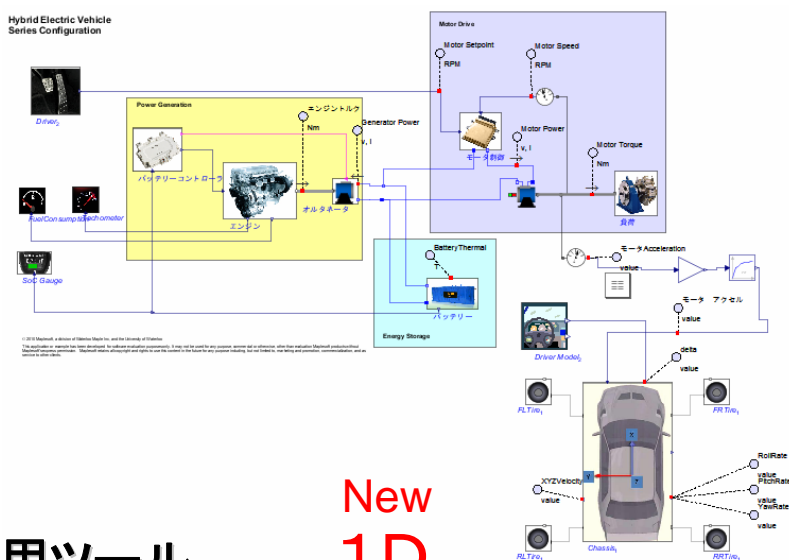
下流

概念設計

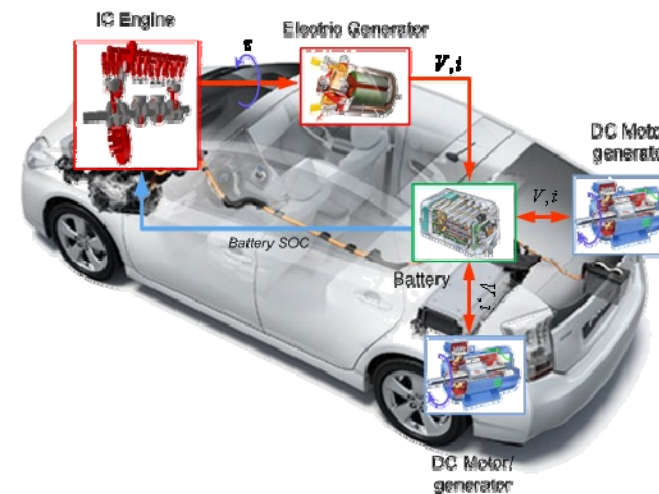
詳細設計

新製品等の仕様やコンセプトを決める工程

各機能毎、個別に詳細設計し、検証する工程



連携



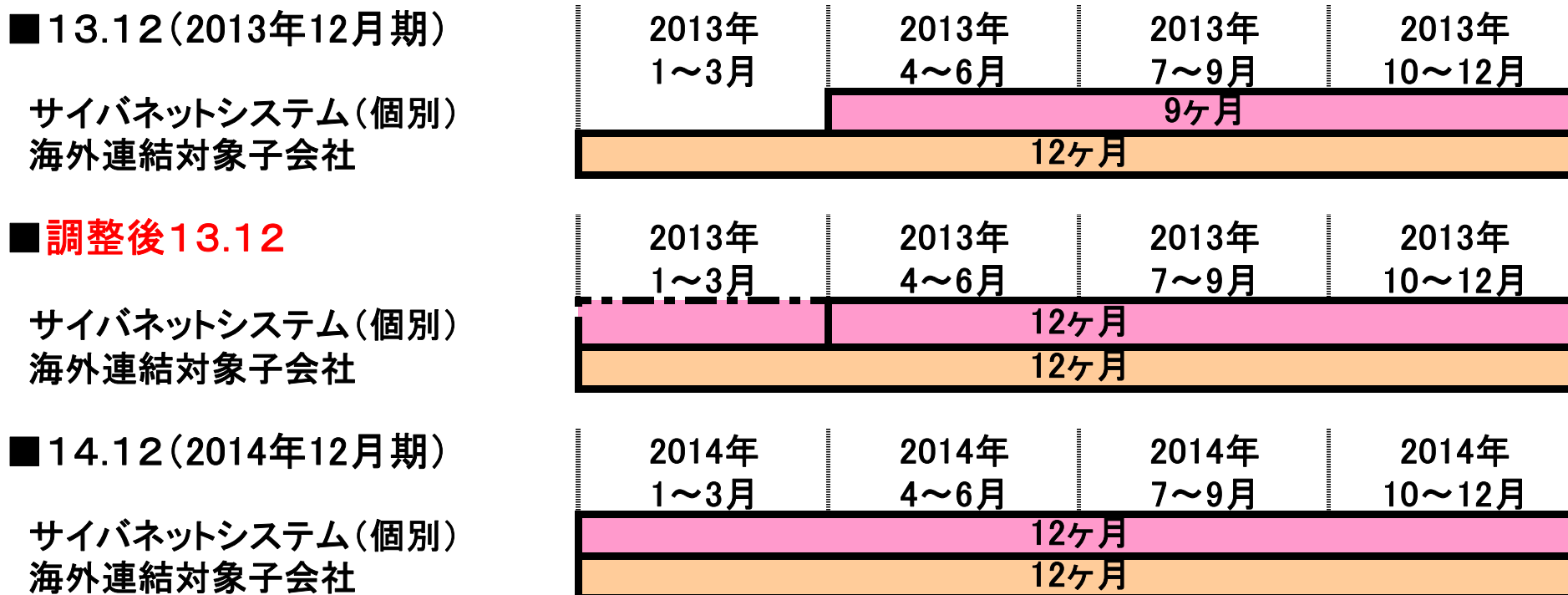
使用ツール

New
1D
MapleSim

3DCAD
3DCAE

決算期(事業年度の末日)の変更について

- ◆ 本資料内の**調整後13.12**とは、2014年度通期業績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。



[連結]14.12E業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	14.12E/2Q 計画	調整後 13.12/2Q	前同差	前同比	14.12E 計画	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	8,370	7,689	680	108.9%	16,000	14,732	1,267	108.6%
売上総利益	3,719	3,282	436	113.3%	7,152	6,667	485	107.3%
売上総利益率	44.4%	42.7%	+1.7P		44.7%	45.3%	▲0.6P	
営業利益	680	511	168	132.8%	1,000	785	214	127.2%
営業利益率	8.1%	6.7%	+1.5P		6.3%	5.3%	+0.9P	
経常利益	729	650	79	112.3%	1,100	1,031	68	106.6%
経常利益率	8.7%	8.5%	+0.3P		6.9%	7.0%	▲0.1P	
当期純利益	375	364	11	103.1%	600	541	58	110.9%
当期純利益率	4.5%	4.7%	▲0.3P		3.8%	3.7%	+0.1P	

業績予想について

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

※P:ポイント

[連結]14.12Eの配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	13.12	14.12E		
	年間(総額)	第2四半期末(予想) 基準日(2014年6月30日)	期末(予想) 基準日(2014年12月31日)	年間(予想)
1株当たり配当額	10.40	5.60	5.60	11.20
1株当たり当期純利益	10.78	—	—	19.26
配当性向	96.5%	—	—	58.2%

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、上記の13.12(2013年12月期)の数値は、2013年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当額及び1株当たり当期純利益を算定しております。



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況(2013年12月31日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 534名
個別 351名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)
Noesis Solutions NV (ベルギー)
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
Sigmetrix, L. L. C. (米国)
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)
非連結 CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

[個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.12 実績	13.3/3Q 累計	前同差	前同比	13.12 計画	計画差	計画比
売上高	8,937	8,702	+235	102.7%	9,298	▲ 360	96.1%
売上総利益	3,699	3,506	+192	105.5%	3,757	▲ 58	98.4%
営業利益	662	548	+114	120.9%	644	+18	102.9%
営業利益率	7.4%	6.3%	+ 1.1P		6.9%	+ 0.5P	
経常利益	757	612	+144	123.6%	659	+98	114.9%
経常利益率	8.5%	7.0%	+ 1.4P		7.1%	+ 1.4P	
当期純利益	435	362	+72	120.1%	401	+33	108.3%
当期純利益率	4.9%	4.2%	+ 0.7P		4.3%	+ 0.5P	

※P:ポイント

[個別]14.12E業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	14.12E/2Q 計画	調整後 13.12/2Q	前同差	前同比	14.12E 計画	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	7,113	6,785	327	104.8%	12,800	11,981	818	106.8%
売上総利益	3,000	2,866	133	104.7%	5,293	4,978	315	106.3%
売上総利益率	42.2%	42.3%	▲0.1P		41.4%	41.5%	▲0.2P	
営業利益	992	898	93	110.5%	1,276	1,049	226	121.6%
営業利益率	13.9%	13.2%	+0.7P		10.0%	8.8%	+1.2P	
経常利益	1,000	994	6	100.7%	1,293	1,207	85	107.1%
経常利益率	14.1%	14.6%	▲0.6P		10.1%	10.1%	+0.0P	
当期純利益	617	630	▲12	98.0%	799	725	74	110.2%
当期純利益率	8.7%	9.3%	▲0.6P		6.2%	6.1%	+0.2P	

業績予想について

※P:ポイント

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET